

【 概 要 】

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第3回)

1. 調査の概要

調査対象期間(平成24年11月～平成25年2月)に民間住宅ローンを借り入れた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプの別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果を取りまとめたものである(回答数:151件)。

2. 調査結果の主なポイント

(1)フラット35を知るきっかけは「住宅・販売事業者」が最も多い

- ・ フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」(47.7%)が最も多く、次いで「インターネット」(29.8%)、「住宅情報誌」(17.2%)と続いている。<p2>
- ・ フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「住宅情報誌」、「新聞広告」、「テレビ」等の影響が大きい。<p2>

(2)インターネットで収集した住宅関連情報は「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」が最も多い

- ・ インターネットで収集した情報は、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」(66.7%)が最も多く、次いで「住宅ローン返済額に関するシミュレーション」、「購入(建設)を検討する物件情報(評判)」、「資金計画に関するシミュレーション」(各62.2%)となっている。<p4>

(3)フラット35を利用した理由は「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が最も多い

- ・ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(59.6%)が最も多く、次いで「金利が低い」(53.6%)、「フラット35Sを利用したい」(29.8%)と続いている。<p5>

※< >は本調査結果の詳細資料中の該当ページ